情報連絡員総括表(2023年5月)

- 静岡県中小企業団体中央会 -

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員 [協同組合等の役職員 60 名] による毎月の景況調査の集計結果です。

- 1. 概況報告
- 2. 項目別の前月・今月の DI 値の比較
- 3. 情報連絡員からの報告
- 4. 主要三指標における DI 値の推移 (グラフ)

本調査の見方・

- ◎売上高等の9項目につき **前年同月と比較し**、好転・不変・悪化 のいずれかを回答 **D I 値**= [(好転組合数-悪化組合数)/調査対象組合数] ×100
 - ※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい)で推移
 - ※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1.概況報告 (回答者数58名:回収率96.7%)

- 〇2023 年 5 月の D I 値は、前月との比較において、「販売価格」「設備操業度」「雇用人員」を除く 6 指標が悪化した。前月は改善が見られていた「収益状況」も、原材料や資材、エネルギー価格等の高騰により前月との比較において-15.8 ポイント悪化し、各業界からも収益圧迫に対する不安の声が上がった。
- 〇「製造業」では、前月との比較において、「設備操業度」「業界の景況」の2指標が改善し、その他7指標が悪化した。特に「収益状況」は27.0ポイント悪化し、ID値はマイナス53.6ポイントとなった。

輸送用機械器具製造業からは「今後の見通しが不透明な中で、人員確保について難しい判断を迫られている」と今後の生産体制に関するコメントも寄せられた。

〇「非製造業」では、前月との比較において、「在庫数量」「販売価格」「雇用人員」の3指標が 改善した。特に「販売価格」は18.9ポイント改善し、ID値は50.0ポイントとなった。一方、 「収益状況」は6.3ポイント悪化しており、鮮魚小売業から「行動制限緩和と物価高騰に伴い 売上は増えたが、仕入れ原価やエネルギー関連経費の増加により採算面に不安が残る」とコメ ントがあるなど物価高騰による影響を価格転嫁しきれない現状が見られた。

	売上高	在庫 数量	販売 価格	取引 条件	収益 状況	資金 繰り	設備 操業度	雇用 人員	業界の 景況	
2023年5月	-13. 8	2. 4	34. 5	-12. 1	-34. 5	-17. 2	-25. 0	-18. 9	-27. 6	
2023年4月	-6. 8	-2. 3	27. 1	-3. 3	-18. 7	-15. 2	-30. 0	-20. 3	-25. 4	
増減	-7. 0 \	4.7	7.4)	-8.8	-15.8	-2. 0 \	5. 0)	1.4	-2. 2 \	

2.項目別の前月・今月の DI 値の比較

			製造業			非製造業		全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		
± L ÷	2023年5月	-25. 0	-5.0 ポイント	,	-3. 3	-10.2 ポイント	,	-13. 8	-7.0 ポイント	,	
売上高	2023年4月	-20. 0	-5.0 ホイント	J	6. 9	-10.2 ホイント	J	-6. 8	-7.0 ホイント	J	
在庫数量	2023年5月	7. 1	7.1 +2/5.1		-7. 2	-0.1 ポイント	A	2. 4	47 + 25.1	,	
在 牌数里	2023年4月	0.0	7.1 ポイント	J	-7. 1	-0.1 小イント	Ĵ	-2. 3	4.7 ポイント	J	
正主压投	2023年5月	17. 8	-5.5 ポイント	,	50. 0	18.9 ポイント	1	34. 5	7.4 ポイント	•	
販売価格	2023年4月	23. 3	-0.0 ポイント	J	31. 1	18.9 ホイント)	27. 1	7.4 ホイント	f	
₽= コノタ / <u> </u>	2023年5月	-17. 9	-4.6 ポイント	,	-6. 7	10 6 - + 2 2 3 1		-12. 1	0.0 - 12 / 5.1	,	
取引条件	2023年4月	-13. 3	-4.0 ホイント	J	6. 9	-13.6 ポイント	J	-3. 3	-8.8 ポイント	J	
収益状況	2023年5月	-53. 6	-27.0 ポイント	,	-16. 7	-6.3 ポイント	,	-34. 5	-15.8 ポイント	,	
以益认沉	2023年4月	-26. 6	-27.0 パイント	J	-10. 4	-0.3 パイント	J	-18. 7	-10.0 ハイント	J	
資金繰り	2023年5月	-25. 0	-1.6 ポイント	,	-10. 0	-3.1 ポイント	,	-17. 2	-2.0 ポイント	,	
貝並採り	2023年4月	-23. 4	-1.0 パイント	J	-6. 9	-3.1 ルイント	J	-15. 2	-2.0 パイント	J	
設備操業度	2023年5月	-25. 0	5.0 ポイント	ſ				-25. 0	5.0 ポイント	→	
以 順保未及	2023年4月	-30.0	0.0 パイント	,				-30.0	0.0 パイント	7	
雇用人員	2023年5月	-28. 5	-5.1 ポイント	`	-10. 0	7.3 ポイント	1	-18. 9	1.4 ポイント	1	
准用人貝	2023年4月	-23. 4	0.1 小1ノト	J	-17. 3	1.3 小イント	J	-20. 3	1.4 小1ノト	J	
業用の早に	2023年5月	-28. 5	4.8 ポイント	•	-26. 7	-9.5 ポイント		-27. 6	-2.2 ポイント)	
業界の景況	2023年4月	-33. 3	4.0 ハイント	Ĵ	-17. 2	-9.0 ハイント	J	-25. 4	-2.2 ハ 1フト	J	

今月の業種別回答件数

							売.	上高	在庫	数量	販売	価格	取引	条件	収益	状況	資金	繰り	設備抽	朵業度	雇用	人員	業界0	り景況
							増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
	食			料		묘	2	1	0	2	2	0	1	0	1	1	- 1	1	0	1	0	2	0	0
	繊		維		I	業	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1
	木	材	•	木	製	品	0	4	2	0	1	2	0	2	0	4	0	2	0	4	0	3	0	4
	紙		紙	加	I	. 品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0
製	ΕŊ					刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
造業	窯	業		± 7	石 \$	製 品	1	2	1	0	3	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1
業	鉄	鋼		金↓	寓 二	ロ 業	1	3	0	1	0	1	0	2	0	3	0	2	0	2	0	1	0	3
	-		般	ŧ	機	器	0	3	0	1	0	0	0	1	0	3	0	1	0	2	0	1	0	3
	電		気	ŧ	機	器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	輸	ìÌ	<u> </u>	用	機	器	2	2	2	0	1	1	1	1	0	2	0	1	2	1	0	1	2	1
	そ			の		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	卸			売		業	2	1	2	0	2	0	0	1	0	1	0	1			0	0	0	2
非	小			売		業	1	2	1	2	3	1	0	2	0	2	0	2			0	1	0	2
製	商			店		街	0	2	0	2	4	1	0	1	0	2	0	1			0	2	0	2
製造業	サ	_	-	ビ	ス	業	2	1		7	3	0	0	0	2	1	1	0	/		2	0	3	0
耒	建			設		業	1	2)	<	2	0	1	1	0	2	0	0			0	1	0	3
	運			輸		業	2	1			3	0	2	0	1	0	1	1	V		0	1	0	2

3.情報連絡員からの報告

製造業

織物業	・本年度も2軒の織屋が廃業の予定。 ・安定した受注は入ってきているがコロナでスリム化した体制が戻りきらない。
製材・木製品	・住宅建設需要が低下していて、木材景況に影響している。
骨材·石工品等	・売上が前年より減少しており、収益状況が厳しくなっている事業所がある。
金属製品	・エネルギー・原材料の高騰により、著しく収益率が悪化している。
並偽袋吅	・価格転嫁が進まない。
生産用機械器具	・電気自動車へのシフトによる製品の変更、設備の変更、仕事の減少などが影響して、売上高が減少した。
生	・親会社からの受注量が商品によって大きく異なるため、忙しいところと仕事がないところの差が大きい。
電気機械器具	・白物家電の4月の出荷額は減少したが、足元の生産は概ね好調に推移している。 ・冷蔵庫は販売の減少に対応した生産調整を実施した。 ・家庭用エアコンと業務用エアコンは需要のピークに向けて生産を拡大している。
輸送用機械器具	・引き続き半導体の調達が安定せず生産計画の変更が続いている。徐々に改善方向に向かっているとの情報もあり、今後の見通しが不透明な中で人員確保について難しい判断を迫られている。
	・仕事量が少なく、厳しい状況が続いている。

非製造業

セメント卸売業	・公共関連工事は依然少なく、袋セメントの需要は厳しい状況が続いている。 セメントメーカーから 第二弾の値上げ交渉が激しくなってきた。
鮮魚小売業	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことによる行動制限の緩和と、物価高が重なり売り上げが増えたが、同時に仕入れ原価・事業に関する経費(特にエネルギー関連)の上昇で採算面に不安が残る。景気回復の兆しは見えない。
	・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことにより、徐々にではあるが活気が戻りつつある。
各種商品小売業	・商店街で新たなイベントを開催し、来街者も増加した。お店を知ってファンとなって頂く為の各種イベントは今後も開催していく予定。
	・売上は横ばいであるが、客数が減っているのが課題である。
	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比で92.8%と悪化した。実施中の全国旅行支援は、宿泊施設への直接予約申込が対象外となっていることから、特に平日利用客の予約が減少した。 ・雇用状況は、引き続き人手不足が続く。
宿泊業	・ゴールデンウィークはある程度の集客はできたものの、日並びの関係で期待したほどの結果ではなかった。依然として、エネルギーの高騰や原材料費の高騰が収益を圧迫する状況となっている。 ・人手不足により、すべての客室を販売することが不可能な状況もあり、減収を余儀なくされている。
	・公共工事の発注が地域的に減少しているように見受けられる。
総合工事業	・民間の建物は新築の落ち込みが続いているが、一方でリフォームなどの改修工事は順調に推移している。官庁の土木工事も5月に入り入札案件が増えてきた。
	・静岡県内は、受発注の動きが鈍く受注予定が少ない会社が多いと思われる。首都圏の案件は相変わらず忙しく動いているとのこと。2024年問題の運送業、建設業共にこの先の影響はあるに関わらず、不透明感がある。その他不安要素はあるが、問題をいち早く解決するためにも、情報確保・共有をしていただきたい。
職別工事業	・年度替わりからおおむね落ち着いた状況が続いている。・価格は変わらず、適正な取引価格での契約を確保している。・秋口から年末にかけては非常に多忙になる予想。
道路貨物運送業	・取引先との運賃交渉により収益・資金繰りが改善している。しかし、トラックを発注しても納期が未定または1年かかるため、交換サイクルにずれが生じている。また、トラックの価格の高騰で発注に躊躇し交換サイクルがさらに伸びている。したがってトラックの高年齢化により故障のリスクが増えるために予備車を複数抱えることになるが、この維持にも費用が掛かるため、損益負担のリスクになっている。
	・運賃単価は上昇しているようだが、稼働率が低下している様子。中京・関西方面からの荷動きが悪く感じる。
道路旅客運送業	・コロナ前に比べ輸送人員は約70%、運送収入は73%まで回復してきてはいるものの、回復具合は頭打ちの状況。1日1車あたりの営業収入も改善傾向にあるが、夜間や天候等により旅客が集中した際の供給力が不足しているため、人材確保によるドライバー不足の解消が喫緊の課題。

4.主要三指標における DI 値の推移

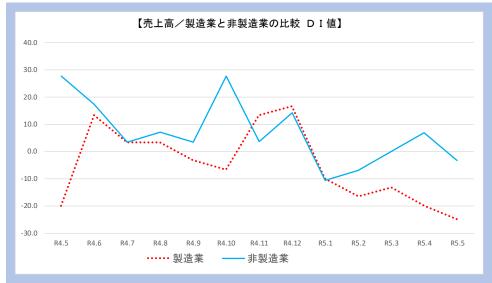
■2022年5月期~2023年5月期までの推移

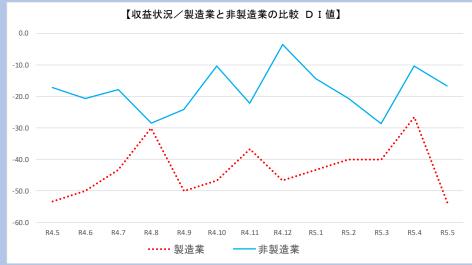
全体	R4. 5	R4.6	R4. 7	R4.8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5.4	R5. 5
売上高	3.4	15. 3	3. 5	5. 2	0.0	10.2	8.8	15. 5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8
収益状況	-35.6	-35. 5	-31.0	-29.3	-37. 2	-28.9	-29.9	-25. 9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34. 5
業界の景況	-32.2	-39. 0	-29.3	-24. 1	-37.3	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24. 1	-25. 4	-27. 6
製造業	R4. 5	R4.6	R4. 7	R4.8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5.4	R5. 5
売上高	-20.0	13. 3	3. 3	3. 3	-3.3	-6. 7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0
収益状況	-53. 4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46. 7	-36.7	-46. 7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53. 6
業界の景況	-46.7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26. 7	-36.7	-36. 6	-33.3	-33. 3	-28.5
非製造業	R4. 5	R4.6	R4.7	R4.8	R4.9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5.4	R5. 5
売上高	27.6	17. 3	3. 5	7. 1	3.4	27. 6	3. 7	14. 3	-10.7	-6. 9	0.0	6.9	-3.3
収益状況	-17.2	-20.7	-17.8	-28. 5	-24. 2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16. 7
業界の景況	-17.2	-27. 6	-21.4	-17.8	-27.6	-17. 2	-37.0	-14. 2	-39.3	-20.7	-14. 3	-17. 2	-26. 7

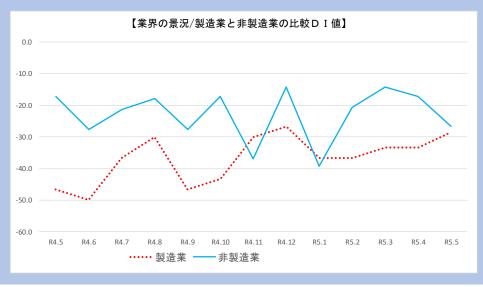


■2022年5月期~2023年5月期までの推移

売上高	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4.8	R4. 9	R4. 10	R4.11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5
製造業	-20.0	13.3	3.3	3.3	-3.3	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0
非製造業	27.6	17.3	3.5	7. 1	3.4	27.6	3. 7	14. 3	-10.7	-6.9	0.0	6. 9	-3.3
収益状況	R4. 5	R4. 6	R4.7	R4.8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5. 5
製造業	-53.4	-50.0	-43.3	-30.0	-50.0	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6
非製造業	-17. 2	-20.7	-17.8	-28.5	-24.2	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7
業界の景況	R4. 5	R4. 6	R4.7	R4.8	R4. 9	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	R5. 4	R5.5
製造業	-46. 7	-50.0	-36.6	-30.0	-46.7	-43.3	-30.0	-26.7	-36. 7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5
非製造業	-17. 2	-27.6	-21.4	-17.8	-27.6	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7



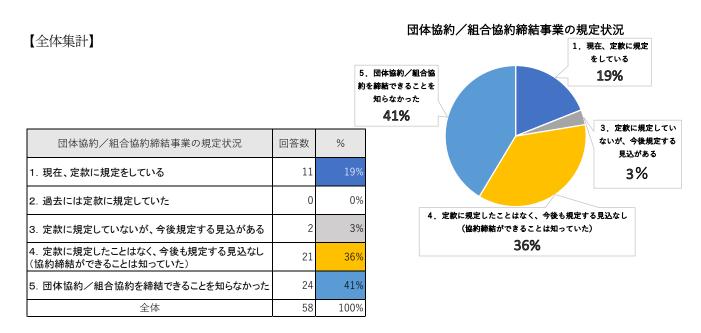


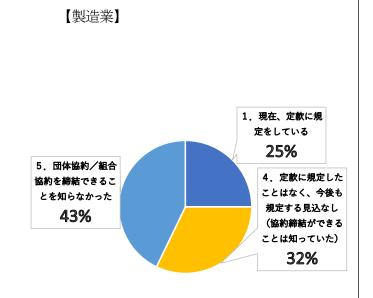


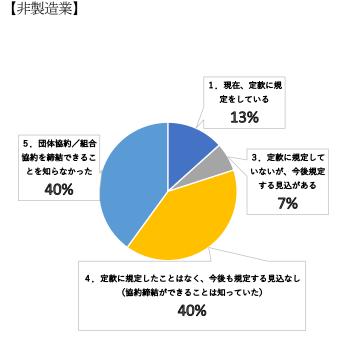
5. 臨時調查結果 (回答者数 58 名:製造業 28 名、非製造業 30 名)

テーマ『団体協約/組合協約の締結』

質問 I. (全員回答) 団体協約/組合協約締結事業を組合の定款に規定していますか。





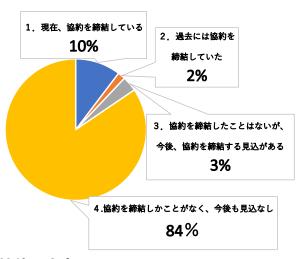


質問 II. (全員回答) 団体協約/組合協約を締結したことがありますか。

【全体集計】

団体協約/組合協約を締結したことがあるか	回答数	%
1. 現在、協約を締結している	6	10%
2. 過去には協約を締結していた	1	2%
3. 協約を締結したことはないが、今後、協約を 締結する見込がある	2	3%
4. 協約を締結したことがなく、今後も見込なし	49	84%
全体	58	100%

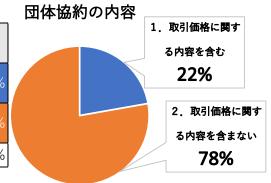
団体協約/組合協約を締結したことがあるか



質問Ⅱ-2. (質問Ⅱで1~3と回答した方のみ) 団体協約の内容。

【全体集計】

団体協約の内容	回答数	%
1. 取引価格に関する内容を含む	2	22%
2. 取引価格に関する内容を含まない	7	78%
全体	9	100%



【製造業】

質問 II. (製造業)

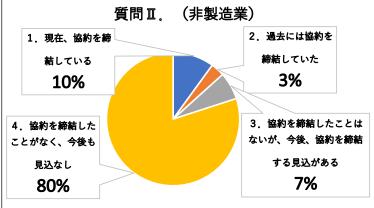
1. 現在、協約を締結している
11%

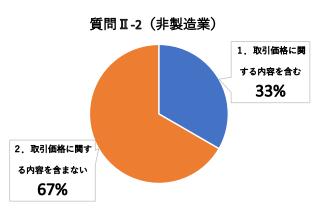
4. 協約を締結したことがなく、今後も見込なし
89%

質問Ⅱ-2(製造業)



【非製造業】



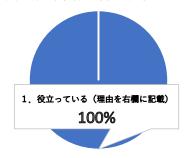


質問Ⅲ. (質問Ⅱで1~2を選択した方のみ) 団体協約/組合協約は組合員の取引条件改善に効果はありましたか。

【全体集計】

組合員の取引条件改善に効果はあったか。	回答数	%
1. 役立っている(理由を右欄に記載)	7	100%
2. 役立っていない(理由を右欄に記載)	0	0%
3. その他(具体的に右欄に記載)	0	0%
合計	7	100%

組合員の取引条件改善に効果はあったか。



【回答の理由】

- ・運送協約を締結しており、水産物・水産加工品の運送に関して荷主・運送業者双方で共 同集配において融通性を享受し合っている。
- ・交渉の結果、原材料(セメント、砂、砂利、他)の高騰を理由に、生コンの販売価格も 上昇している。
- ・組合員の利便と収益の向上につながった。
- ・当組合が軽油や商品をまとめて仕入れ、組合員に販売する事で価格に優位性を持たせている。
- ・規約、規定通りに取引がされており、事業に関する保証金も預かっている。

質問IV. 組合員の取引先との協約・協定の締結による交渉で困った点のほか、原材料等の 価格転嫁対策として求める制度や支援策等、ご意見があればご記入ください。

【回答】

- ・今後、運送運賃の上昇が懸念される中、これまでのような個別での運賃協議がスムーズ に出来るかが心配なところ。
- ・現状組合と組合員の取引先との接点が無く対応等が分からない。事例等情報提供をお願いしたい。
- ・大多数が販売店を経由した販売形態なので、協約・協定の締結の形にならない。
- ・これ以上原材料が高騰すると、生コン販売価格の上昇交渉も難しくなり今までの上昇分が吸収されてしまう。また製造設備が古くなっており、修繕費等がかさんで収益を圧迫している。

若年層の求人を行っているが、労働環境・給与面等の問題で応募がなく、問題の解決に は利益の確保が急務である。

- ・官公需適格組合との違いが分からない。
- ・組合内での商行為がこれまでなかったが、共同購買の可能性を模索中。